

「(仮称) 町田市北部丘陵活性化計画 (案)」
パブリックコメント実施結果

町田市経済観光部北部丘陵整備課

「(仮称)町田市 北部丘陵活性化計画(案)」に関する意見募集の実施概要

いきいきとした北部丘陵地域のまちづくりのため、北部丘陵活性化計画の策定に取り組んでまいりましたが、このたび計画(案)がまとまりました。その内容をお知らせするとともに、広く市民の皆さんのご意見を伺いたいと考え、意見募集を行いました。

1. 意見の募集期間

2011年1月11日(火)から2月10日(木)

2. 意見の募集方法

- 「広報まちだ1月11日号及び1月21日号(都市づくり特集号)」に概要を掲載
- 1月11日から「町田市ホームページ」に詳細を掲載
- 以下の窓口にて資料を配布

北部丘陵整備課(市役所森野分庁舎2階)、都市計画課(市役所中町第3庁舎1階)、公園緑地課(市役所木曾庁舎1階)、市民相談室(市役所本庁舎1階)、市政情報やまびこ(市役所中町分庁舎1階)、各市民センター、玉川学園文化・木曾山崎の各センター、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、町田・南町田の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館

3. お寄せいただいたご意見の内訳

58名の方から、206件のご意見をお寄せいただきました。ご意見の内訳は次のとおりです。

- | |
|--|
| 1 計画全般に関する意見 31件 |
| ①計画(案)に賛同の意見・・・・・・・・・・・・・・・・(7件) |
| ②計画の推進と自然環境の保全に関する意見・・・・・・・・(5件) |
| ③計画の実施スケジュールに関する意見・・・・・・・・(4件) |
| ④計画の作成過程に関する意見・・・・・・・・(3件) |
| ⑤地域意見の反映に関する意見・・・・・・・・(5件) |
| ⑥その他の計画全般に関する意見・・・・・・・・(7件) |
| 2 「第1章 計画策定の必要性」に関する意見 8件 |
| ①「北部丘陵のこれまでの経緯」に関する意見・・・・・・・・(1件) |
| ②「社会状況の変化」に関する意見・・・・・・・・(1件) |
| ③「北部丘陵の価値・魅力、課題」に関する意見・・・・・・・・(4件) |
| ④「計画策定の必要性」に関する意見・・・・・・・・(2件) |
| 3 「第2・3章 計画の基本的な考え方・4つのプロジェクト」に関する意見 145件 |
| ①「計画の前提」に関する意見・・・・・・・・(4件) |
| ②「計画の視点」に関する意見・・・・・・・・(1件) |
| ③「計画の目標像」に関する意見・・・・・・・・(2件) |
| ④「基本方針1 町田ならではの里山を創造する担い手を育む」に関する意見・・・・(18件)
(担い手確保・育成プロジェクトに関する意見を含む) |
| ⑤「基本方針2 いきいきと住み続けられる環境を整える」に関する意見・・・・(30件)
(生活・なりわい環境整備プロジェクトに関する意見を含む) |
| ⑥「基本方針3 かけがえのない多摩丘陵の風景を将来に引き継ぐ」に関する意見・・(23件)
(風景継承プロジェクトに関する意見を含む) |
| ⑦「基本方針4 資源を磨き『地域力』を発信する」に関する意見・・・・・・・・(19件)
(地域力発信プロジェクトに関する意見を含む) |
| ⑧具体的な事業等の提案・・・・・・・・(46件) |
| ⑨『町田スタイル』に関する意見・・・・・・・・(2件) |
| 4 「第4章 計画の推進に向けて」に関する意見 2件 |
| ①計画の推進に関する意見・・・・・・・・(2件) |
| 5 その他の意見 20件 |
| ①鉄道に関する意見・・・・・・・・(5件) |
| ②その他の意見・・・・・・・・(15件) |

「(仮称) 町田市 北部丘陵活性化計画 (案)」に関するご意見の概要と市の考え方

◇お寄せいただいたご意見は取りまとめの都合上、要約して掲載しています。

1 計画全般に関する意見 31件

①計画(案)に賛同の意見(7件)

ご意見の概要	市の考え方
北部丘陵の活性化には概ね賛成です。郊外都市として、丘陵に残る里山や農地を活用していくことが町田市としてのまちの魅力を表出していくものだと思います。 (同様6件)	ご期待に沿えるように「北部丘陵活性化計画」の策定と運用を進めていきます。

②計画の推進と自然環境の保全に関する意見(5件)

ご意見の概要	市の考え方
交通や生活の利便に不利を感じる反面、自然環境にはあまり手を入れていただきたくない気持ちも併存する。丘陵活性化では、急ぎすぎて取り返しのつかない状況とならないよう、バランスを考慮しながら計画を進めていただきたい。(同様4件)	豊かな自然環境を始め地域の歴史や文化も北部丘陵の貴重な資産と捉え、それらを尊重し、後世に引継いでいくことを計画の基本的な考え方に位置付けています。一方、地域の生活の質を高めるために必要な基盤整備も重要と認識しています。計画を進めるにあたっては、このバランスに配慮し取り組んでいきます。

③計画の実施スケジュールに関する意見(4件)

ご意見の概要	市の考え方
具体事業について、それぞれの達成年度と達成指標などの目標値を計画内できちんと示して欲しい。そうしないと、これまで同様に何も進まないと思う。(同様3件)	ご意見を参考に、想定する具体事業については大まかな実施スケジュールを計画の中に示す予定です。また具体的な事業実施スケジュールや達成指標の明確化については、事業内容の検討の一つとして取り組んでいきます。

④計画の作成過程に関する意見(3件)

ご意見の概要	市の考え方
計画検討組織の構成、地域の意見をどのように聴取したか、意見をどのように反映しているか等を含めた計画策定のプロセスも述べておく必要がある。(同様2件)	検討組織や検討の経過、意見聴取の経過等、本計画の検討経過については、計画の中に示すことを予定しています。

⑤地域意見の反映に関する意見(5件)

ご意見の概要	市の考え方
計画の実現にあたっては、適時、地元への説明やアンケートの実施などで、地元の意見や要望を受け入れながら進めていただきたい。(同様4件)	計画の実現にあたっては、地域の方の理解や協力が不可欠です。そのため、個々の事業の実施にあたっては、地域の意見や協力を求め、円滑な事業実施を図っていきます。

⑥その他の計画全般に関する意見（7件）

ご意見の概要	市の考え方
活性化のための協働や利用面での参加に、多くの町田市民とともに、多摩、八王子、稲城市民も関わり愛される北部丘陵になって欲しい。(同様1件)	本計画において、幅広い地域から北部丘陵を担う人材を求め育むことを基本方針の一つにしています。ご意見を参考に、多くの市民はもとより、周辺市の市民も関わるができる施策の展開を検討していきます。
高齢化社会を踏まえ高齢者、障がい者、要介護者、乳幼児など社会的弱者に活力を与える施策であると同時に、健康な高齢者の力を最大限に活用して生きがいづくりになる施策展開が望まれる。(同様2件)	ご意見を参考に、高齢者、障がい者等にとって活力につながる施策も、地域活性化につながるものとして検討していきます。
この地域は市街化調整区域に指定され、以後1度も見直しされていない。このような状況ではこの活性化計画(案)が地域住民の同意が得られるものではない。(同様1件)	本計画の策定においては、市街化調整区域の枠組みについて基本的に変更しないことを前提としています。また具体的な事業については、地域の方等と話し合いながら実施していきます。

2 「第1章 計画策定の必要性」に関する意見 8件

①「北部丘陵のこれまでの経緯」に関する意見（1件）

ご意見の概要	市の考え方
区画整理事業が中止になった理由や「農と緑の公社」について、パブリックコメント資料ではよく分からない。	北部丘陵のこれまでの経緯については、計画の中に示す予定です。

②「社会状況の変化」に関する意見（1件）

ご意見の概要	市の考え方
「地球温暖化の防止や環境負荷の低減」という表現は、国際標準に従って「地球温暖化の防止(緩和策)や治水・土砂災害対応などの環境負荷の低減(適応策)」などと表記出来ないか。	ご意見を参考にさせていただきます。また、北部丘陵がもつ鶴見川源流域としての治水の重要性等については、計画の中に示す予定です。

③「北部丘陵の価値・魅力、課題」に関する意見（4件）

ご意見の概要	市の考え方
地元の農家にとっては、農地も樹林地も元々経済的な基盤であったと思う。それが、逆に重荷になってしまった状況をどのように変えられるのか、変えられないとしたら、どうするのが課題である。(同様1件)	農業を中心に、地域の経済的な循環が成り立つ持続的な仕組みを検討していくとともに、農地や樹林地の維持管理については、新たな担い手による支援策を検討していきます。
鶴見川源流、多摩三浦丘陵北の拠点などという広域ブランディングにつながる表現がないのはもったいない。外部から町田の北部丘陵がどのようなまなざしを受けているか、しっかり捕まえて活用してほしい。(同様1件)	ご意見を参考に、鶴見川源流や多摩三浦丘陵北の拠点など広域的な視点から、北部丘陵の価値・魅力について、計画の中に示すことを検討していきます。

④「計画策定の必要性」に関する意見（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>北部丘陵の自然環境は、大変魅力的で価値があるものだが、地元の方と市街地の市民と同じ価値観を共有しているのか。お互いに「利益」があるようにしていく必要がある。（同様1件）</p>	<p>計画の実施が、北部丘陵の活性化を実現するとともに、町田市全体の価値の向上につながる事が重要と考えており、地域の方や市民全体の価値観を共有しながら取り組みを進めていきます。</p>

3 「第2・3章 計画の基本的な考え方・4つのプロジェクト」に関する意見 145件

①「計画の前提」に関する意見（4件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>2005年に作成された「北部丘陵まちづくり基本構想」はどこに行ったのか。この構想との関連は、位置づけはどうなっているのか。</p>	<p>本計画は「北部丘陵まちづくり基本構想」で示したまちづくりのテーマ「農とみどりのふるさとづくり」の主旨を踏まえて作成するものです。 上記の内容を含め、他の計画との関連及び位置づけについては、計画の中に示すことを予定しています。</p>
<p>農業振興の位置づけは高くなっているが、農業振興地域の指定と「(仮称)農と緑の公社」に頼らないとしていることについては、農業振興とは矛盾してくる。 (同様2件)</p>	<p>「北部丘陵まちづくり基本構想」では、実現方策の主な手法として「農業振興地域」の指定、及び「(仮称)農と緑の公社」の設立を掲げ、地域関係者や関係機関と協議を重ねてきました。しかし、地域関係者や関係機関の理解、協力を得ることは困難であるとの判断をせざるを得ない状況です。 そこで、これらに頼らず速やかに北部丘陵の課題の解消及び活性化を進めるため、本計画の策定を進めているものです。 なお、上記の内容については計画の中に示すことを予定しています。</p>

②「計画の視点」に関する意見（1件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>「生物の貴重な生息環境として…」を「生物の貴重な生息・繁殖環境として…」としてはどうか。</p>	<p>ご意見を参考に、表記の方法について検討します。</p>

③「計画の目標像」に関する意見（2件）

ご意見の概要	市の考え方
<p>「町田ならではの谷戸山」という従来の表現が適切と考えます。</p>	<p>「谷戸山」は、小流域単位での町田市の緑の保全を掲げた緑の基本計画を象徴する言葉として基本理念に盛り込まれ、緑地構造を表わす「谷戸山軸」や「谷戸山管理講習会」等普及啓発事業の名称として用いられてきました。</p> <p>一方、本計画は、こうした北部丘陵の自然環境の保全の視点も含みつつ、北部丘陵の全体のまちづくりを主な視点としていることから、一般的に広く認識されている「里山」という言葉が適当であると考え使用しているものです。</p> <p>なお、緑の基本計画の改定においては、市民の方に広く緑の保全について認識を深めていくため「谷戸山」を「里山」へと改めることとしています。</p>
<p>「人と人が育む、美しく、生き生きとした町田ならではの里山をめざして」と掲げてありますが、あまりにも曖昧な言葉の連続ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見については、参考にさせていただきます。</p>

④「基本方針1 町田ならではの里山を創造する担い手を育む」に関する意見（18件）
（担い手確保・育成プロジェクトに関する意見を含む）

ご意見の概要	市の考え方
<p>「担い手」を呼び込むことが書かれているが、観光で訪れる人々、実際に保全活動に参加している人、現在、営農をしている方も全て同列に論じるのは無理があると思う。（同様2件）</p>	<p>ご意見にもあるように、北部丘陵への関わり方はさまざまです。本計画では、むしろそうした多様な関わり方が北部丘陵の活性化には必要であると捉え、北部丘陵を将来へ引き継ぐ「担い手」と考えています。そうした多様な志向や関わり方に応じた事業を展開し、活性化につなげていくことが必要であると考えています。</p>
<p>保全のための活動をより活発にするための施設や方策を考えることを優先してほしい。（同様3件）</p>	<p>ご意見については、参考にさせていただきます。</p>
<p>市有地を活用して先導的に事業を展開していくことで、変化の可視化を進めていただきたい。（同様2件）</p>	<p>北部丘陵内の市有地は、担い手が活躍する対象地として、プロジェクト推進の起爆剤となるように先導的に活用していきます。また、北部丘陵における取り組みについては、積極的に情報発信を行い、可視化を図りながら市民の関心を高めていきます。</p>
<p>「（仮称）北部丘陵まちづくり推進会議」の構成メンバーや役割などを具体的に明らかにしてほしい。</p>	<p>「（仮称）北部丘陵まちづくり推進会議」は、各所で進める個々の事業等について、担い手が集まり、意見を交わし交流を深める場としてつくられる「プラットフォーム」に参画するメンバーが参加し、北部丘陵全体の活性化について、情報やビジョンを共有し、計画の推進を担う場となることを想定しています。</p> <p>「（仮称）北部丘陵まちづくり推進会議」の概要については、本計画の中に示します。また、事業の具体的な内容については、今後検討していきます。</p>

<p>クラインガルテンはハードルも低く、良い構想と思う。また耕作条件付き等の住宅というのにも期待したい。</p>	<p>事業の概要については、本計画の中に示すことを予定しています。また、具体的な事業内容については、今後検討していきます。</p>
<p>クラブハウス付クラインガルテンのイメージを具体的に明らかにしてほしい。</p>	
<p>北部丘陵の外から間接的に係わる担い手の例、事業展開の例に「オーナー制度」を加えたらどうか。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>北部丘陵の壮大な森林・水系の保全管理を進めるための担い手を募集するという、正面からの構えも必要ではないか。</p>	
<p>学校、企業などの活用につき思い切った工夫を期待します。</p>	
<p>「アウトドア・プレーパーク」について。環境破壊につながるので、このような施設は必要ないと思われる。</p>	<p>アウトドア・プレーパークは、今後検討を進めていく事業の一つとして考えているものですが、具体的な検討を進める際には、北部丘陵の環境を損なうことのないよう配慮しながら取り組みを進めていきます。</p>
<p>「町田ならではの里山」という表現は、「町田ならではの谷戸山」という従来の表現が適切と考えます。</p>	<p>「谷戸山」は、小流域単位での町田市の緑の保全を掲げた緑の基本計画を象徴する言葉として基本理念に盛り込まれ、緑地構造を表わす「谷戸山軸」や「谷戸山管理講習会」等普及啓発事業の名称として用いられてきました。</p> <p>一方、本計画は、こうした北部丘陵の自然環境の保全の視点も含みつつ、北部丘陵の全体のまちづくりを主な視点としていることから、一般的に広く認識されている「里山」という言葉が適当であると考え使用しているものです。</p> <p>なお、緑の基本計画の改定において、市民の方に広く緑の保全について認識を深めていくため「谷戸山」を「里山」へと改めることとしています。</p>

⑤「基本方針2 いきいきと住み続けられる環境を整える」に関する意見（30件）
（生活・なりわい環境整備プロジェクトに関する意見を含む）

ご意見の概要	市の考え方
<p>この地域は、道路や交通アクセスなどの生活基盤整備が市内で最も遅れている。幹線道路や生活道路の整備は、他の内容に優先して促進する必要がある。 （同様13件）</p>	<p>地域の生活基盤の整備は大きな課題と認識しております。</p> <p>道路整備を始め、交通環境の改善や生活污水处理対策など、地域の方と意見交換を行いながら、整備が可能なものから順次取組みを進めていきます。</p>
<p>生活の利便性のため水道や下水道の整備を進められないのでしょうか。</p>	
<p>自然を保全することに重きを置くのであれば、幹線道路計画などは最低限に止めなければならない。 （同様6件）</p>	<p>計画に位置付けられた幹線道路の整備にあたっては、自然環境への配慮を十分に検討しながら取り組んでいきます。</p>

農業振興を図るのであれば、傾斜地の広範囲な土地造成や農道整備を行うべきではないか。(同様3件)	地域の持続的な農業を支えるためには、営農環境の改善は重要であると考えます。本計画では、多摩丘陵の風景の保全・再生に配慮しながら必要な農地や農道の整備等を進めていきます。
この地域の土地所有者が生活できる収入を得られる土地活用の方策等も含めて、計画を策定すべきと考えます。	ご意見については、参考にさせていただきます。
生活・なりわい環境整備プロジェクトを先行させないと、この活性化計画は成り立たないと思います。	本計画において、地域の持続的な生活を支えることは、重要と考えています。地域の方との話し合いを行いながら、緑豊かな環境に十分配慮し、地域の生活の質を高めるために必要な基盤の整備を着実に進めていきます。
いずれもごもつともというべきであろうが、絵に描いた餅とならぬようお願いしたい。	本計画の着実な実現に向けて取り組みを進めていきます。
「生き物に配慮した整備」を加えられないでしょうか。	ご意見を参考に、表記の方法について検討します。

⑥「基本方針3 かけがえのない多摩丘陵の風景を将来に引き継ぐ」に関する意見（23件）
（風景継承プロジェクトに関する意見を含む）

ご意見の概要	市の考え方
永続的な緑の保全のために、市が土地の買い取りや借り上げ等を進めてほしい。(同様3件)	重要な緑のまとまりについては、法制度等の適用により公有地化も含めた実効性のある保全手法を検討していきます。また加えて、町田市景観計画等を活用し多摩丘陵の風景を保全するための取り組みを進めていきます。
この地域の活性化のために、里山の持つ環境向上の力を再認識し、実効性のある施策を願う。(同様1件)	ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
美しい自然を保護するためにも、捨てられた不法投棄物の撤去や不法投棄防止のための施策も具体事業に加えて欲しい。(同様3件)	ご意見については、参考にさせていただきます。
川を多摩丘陵の風景に位置付けるとともに、風景や環境に配慮した河川の整備を進めてほしい。(同様1件)	北部丘陵の河川及び道路については、北部丘陵の風景を構成する重要な要素と考えています。多摩丘陵の風景を将来に引き継いでいくために、水路・河川の維持改善及び道路整備を行う場合は、丘陵の地形や風景、環境に十分配慮し進めていきます。
水路・河川の維持・改善とあるが、水路だけでなく「道路」も入れられないか。生き物に配慮した構造への改善なども考えていただきたい。	ご意見については、参考にさせていただきます。
丘陵域に生息している動植物の保全や帰化植物の侵入を防止してほしい。(同様1件)	ご意見については、参考にさせていただきます。
北部丘陵は、町田の財産であるばかりではなく、東京都の財産でもあることから、東京都が管理費用を出すような、東京都の制度の導入を強く働きかけるべき。	北部丘陵は広域的な資産と考えています。そのため東京都や国に対して支援を求めていくことは必要なことと考えています。
「多摩丘陵の風景」という表現は、単なる見かけの景色と軽薄に誤解されないためには、ランドスケープと表記するか、生態系・生物多様性あるいは、「多摩丘陵の自然」と表記してよいのではないか。	ご意見については、参考にさせていただきます。

「風景」という語句だと、単に見た目的な意味合いに受け取られるのではないか。たとえば、「風景と生き物」に出来ないか。もしくは、「風景」の定義には生き物なども含むという説明を加えていただけないか。	ご意見については、参考にさせていただきます。
「かけがえのない多摩丘陵の風景を将来に引き継ぐ」を「かけがえのない多摩丘陵の自然を将来に引き継ぐ」に出来ないか。	
「法制度等を用いて重要な緑を確実に保全・再生する」を「法制度等を用いて重要な生態系を確実に保全・再生する」に出来ないか。	
「風景継承プロジェクト」を「自然継承プロジェクト」にできないか。	
「重要な緑や美しい丘陵風景の保全・再生を図る」を「重要な生態系や美しい丘陵風景の保全・再生を図る」に出来ないか。	
「重要な緑や美しい丘陵の風景」を「重要な自然や美しい丘陵の風景」に出来ないか。	

⑦「基本方針4 資源を磨き『地域力』を発信する」に関する意見（19件）
（地域力発信プロジェクトに関する意見を含む）

ご意見の概要	市の考え方
活性化計画で達成できたものはきちんとPRする。行政は本気でやっている姿勢を見せないと住民は参加しない。行政は出過ぎず黒子に徹する。	本計画においては、4つのプロジェクトを先導する事業の一つとして、北部丘陵の魅力を発信し、関心を高めるための情報発信を積極的に行っていきます。
町田市として北部丘陵の周知に更なる努力が必要ではないか。（同様1件）	また、まちづくりにあたっては、「協働」を基本に、市もその一員として取組んでいきます。
取り組みのポイントに「自然・歴史・文化資源を磨き、新しい観光・交流の拠点をつくる」とあるが、その解説には「磨く」ことに全く触れていない。先ず、磨くことが必要かつ重要である。	北部丘陵の自然・歴史・文化資源などの中には十分に認識されているとは言えない魅力があり、それらを磨いて価値を高めていくことは重要であると考えています。 例えば、奈良ばい谷戸や鶴見川源流域での取り組み等は、北部丘陵の持つ資源を磨く取り組みであると考えています。 こうした取り組みに関心を持つ担い手とともに積極的に取り組んでいきます。
地元の農家が農業を続けられる経済基盤を確立することが一番だと思う。その次に、市民団体やNPOが無理なく継続できる経済的基盤を確保する支援をしていただきたい。	農業を中心に、地域の経済的な循環が成り立つ持続的な仕組みを検討していきます。 また、市民団体やNPOに対する支援につきましては、「協働」の枠組みの中で検討していきます。
地域ブランドイメージにつながる取り組みや地域ブランドとなる商品の開発が必要。（同様3件）	地域の個性や特長を活かした地域ブランドとなるような商品、サービスの開発が必要と考えています。

一過性の観光ツアーのようなものではなく、訪れた人が帰った後も地域を支える気持ちになれることが必要。	ご意見にあるように、より多くの方が北部丘陵を支えていただけるようになることが重要だと考えております。 本計画においては、担い手のさまざまな志向や関わり方に応じた多様な事業を展開していくこととしています。その中で、観光に訪れた人が、北部丘陵を支える担い手として積極的に関わっていただけることへつなげられるように、事業の展開方法も含めてを検討していきます。
「フットパスの環境整備」は自然破壊であるので、なるべく現在の状況を維持してもらいたい。	フットパスの環境整備については、今後具体的な検討を進める中で、北部丘陵の環境を損なうことのないよう配慮しながら取り組みを進めていきます。
里山の生態系や管理に詳しい里山の研究者などを、アドバイザーとして、意見や指導をいただくことも必要。	ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
バイクの乗り入れを防ぐための車止めや立て札、広報での啓蒙が必要。	
分かりやすい親近感のあるキャラクター設定などはどうか。例えば「平成狸合戦ぽんぽこ」の舞台なので、タヌキとか。	
市有地の有効利用の一つとして、近代農業研究施設として利用することが望ましいのではないか。	
「花のある道づくり」事業は必要ないのではないか。	ご意見については、参考にさせていただきます。
地域力発信プロジェクトのフットパスの環境整備が先行する事には反対	
雑木林の中のシラカシ林は手入れがされず、荒れてしまった結果のものだと思う。里山の再生というのであれば、シラカシ林を積極的に扱うのは誤りではないか。	ご意見を参考に、表記の方法について検討します。
「シラカシやコナラ・クヌギ等里山の樹林」を「シラカシやコナラ・クヌギ等の雑木林」に出来ないか。	

⑧具体的な事業等の提案（４６件）

ご意見の概要	市の考え方
小山田神社付近にハブとなる駐車場、直売施設、観光施設を配置した北部丘陵交流センターを設置し、北部丘陵全域を町田の水緑農観光拠点としてネットワークする。	ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
野中谷戸の中央部は、エコツーリズムの収益資源の一部としていくような本格的な生物多様性保全型の管理・活用を工夫する。	
老若男女、平和的に意見を言いやすくなるワールドカフェと言う対話方式を導入してみてもどうか。	
公園に関する提案(7件) *お花の公園、スポーツ公園、バンブーパーク、小動物と触れ合える公園、親子が遊べる芝公園、野外ステージ、子供が遊べる小さな遊具の設置、など)	

<p>農園、農業施設等に関する提案(8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 農業体験公園 * 休耕地を利用した花畑 * 市民農園、体験農園、大規模貸農園 * 東谷戸にため池を整備 * 景観作物の栽培 * 花の苗や農産物の販売所 	<p>ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>イベント等の開催に関する提案(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 木工作や日曜大工広場の開催 * 水辺の動植物に関心を持ってもらう取り組みの実施 * 歩きながら楽しめるクイズラリーやスタンプラリーの開催 * 地元のケーキ屋さんの協力を得て行事ごとに特集を組んだ共通テーマでのスイーツ販売 	
<p>拠点となる施設等の提案(5件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 善治ヶ谷に野菜直売所とコンビニ等を備えたビジターセンター * 善治ヶ谷に高付加価値の緑農観光施設を集中させる。 * 専門家と協働して写真撮影ポイントの整備 * 鶴見川の源流だとわかるような施設の整備 * レストラン、農産物の直売所の整備 	
<p>環境・教育に関する提案(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 宿泊施設を併設したエコロジータウンの建設 * 小学校高学年児童が農作業のできる場所の確保 * 教育の場や食育の場として活用する。 * 子供センターをつくる。 	
<p>人工照明による水耕栽培施設を整備する。</p>	
<p>上小山田バス折り返し所付近にコンビニを設置する。</p>	
<p>散策等の利用者が増加していく中で、里山のデザイン設計と、それに基づく再生保全活動の指針を専門家とともに作成する。</p>	
<p>保育園、幼稚園、高齢者・障害者施設の設置(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自然を直に学べる保育園の設置 * 保育・幼稚園や高齢者・障害者施設の設置 	
<p>マウンテンバイクコースを作りたい。</p>	
<p>丘陵の一部を樹木葬地としていただきたい。</p>	
<p>温泉の整備(2件)</p>	
<p>農場等の整備(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 牧場を作り、牛乳やアイスクリームの生産と販売をする * 西山中谷戸を夏季の放牧地にする。野中谷戸で飼育作物を栽培する 	

「北部丘陵 周遊回廊」。丘陵を包むように周囲を舗装しない道をめぐらす。	ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。
農地、山林に課税している固定資産税や相続税の軽減・免除。(2件)	ご意見として承ります。
小山田緑地公園に宿泊施設を設置する。	

⑨『町田スタイル』に関する意見（2件）

ご意見の概要	市の考え方
ぜひ「町田スタイル」での取り組みを進め(仮称)北部丘陵まちづくり推進会議を開いて計画を推進して欲しい。	ご要望に沿えるように計画を進めていきます。
素晴らしいが、戻すほみとならないために、持続可能なネットワーク作りとメンバーと推進役のファシリテーターの育成が重要。	ご意見については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。

4 「第4章 計画の推進に向けて」に関する意見（2件）

①計画の推進に関する意見（2件）

ご意見の概要	市の考え方
庁内体制の更なる強化を。例えば、もっと大きな組織「活性化本部」を設置し、本部長には、副市長クラスの指揮命令権をもった者を任用することを検討するべき。または、現副市長が本部長を兼務し、その片腕として副官を置くことでもいいのではないか。	ご意見として承ります。
計画の推進に当たっては地域別、目的別など色々な切り口から多角的にボランティアやNPO活動の組織化と協働化が不可欠である。	本計画においては、各所で進める個々の事業等について、関係する担い手が集まり意見を交わし、交流を深めビジョンを共有する「プラットフォーム」づくりを検討しています。こうしたプラットフォームにより、多様な主体による組織化や協働化を目指していきます。

5 その他の意見（20件）

①鉄道に関する意見（5件）

ご意見の概要	市の考え方
小田急多摩線と多摩都市モノレールの延伸について、活性化計画が2022年度までのものであったとしても、計画を進めていく中で大きな影響を及ぼすものと考えます。したがって、活性化計画の中でも何らかの表現で触れておくべきと考えます。(同様4件)	小田急多摩線延伸や多摩都市モノレール導入に関しては、必要な調査・検討を行っている段階で、現時点で具体的に決まっているものではありません。そのため、現段階では本計画に反映しておりません。

②その他の意見（15件）

ご意見の概要	市の考え方
重要な緑や生態系の保全・再生に関する具体・個別の提案。(同様5件)	ご提案については、参考にさせていただきます。

北部丘陵のまちづくりに向けて、担い手として参加したい旨の個別の申し入れ。(同様3件)	申入れについては、参考にさせていただきます。
計画の考え方や内容の示し方が不足(同様4件)	ご意見を計画の作成に反映いたします。

【問合せ先】 町田市経済観光部北部丘陵整備課 ☎ 042-724-2164